

学校だより

川中 TIMES

Trying for your dreams

佐賀市立川副中学校

学校通信 第17号

令和7年12月1日

文責 校長 馬郡直樹

11月全校朝会 開催 何のために勉強するのか

11月5日（水）に全校朝会を行いました。今回、「何のために勉強するのか」というテーマで、校長から話をしました。以下、その概要です。

勉強する理由はたくさんあるかも知れないが、今日の内容はこの2つ。①若いうちに頭脳を鍛えることが大切だから。②将来の可能性や選択肢を広げることができるから。

①頭脳を鍛えることは、身体と同じように、頭脳を鍛えなければ、脳みそも動かない。スポーツの世界では、ゴールデンエイジという言葉がある。5歳から15歳くらいまで。このゴールデンエイジは、頭脳にも言えること。今、頭脳を鍛える面においても、伸び盛りのゴールデンエイジ＝黄金期間の真っただ中にいる。

中学校で学習している内容そのものが将来の生活に直接役立つというものは、少ないかもしれないが、「深く考えること」「しっかり文章を読むこと」「意見を表現すること」など頭脳を鍛えることが大事である。

人生で必要な判断力などの能力は、勉強で身につき、十分に鍛えられた頭脳と、トレーニング不足の頭脳では、難題に直面したときの反応が違う。頭脳を鍛えたことが生涯に渡ってより良い結果をもたらすと思う。

②将来の可能性や選択肢を広げることについては、勉強していなかったら、夢が見つかっても、「その職業に就くための学校に行けない」とか「必要な資格が取れない」など、選べない自分になってしまうかもしれない。また例えば、「プロ野球選手になっても、ケガなどの理由で、若いうちに引退しなければならなくなり、新しい職業を見つけなければならない」など人生の職業の変更を余儀されることもあるかもしれない。

勉強は、「次の道に進む力」になる。つまり、勉強は、将来の選択肢を広げる道具になる。

今している勉強は、点数を取るためだけのものではない。「自分で人生を切り開いていくようになるため」という意味合いもある。勉強は「自分の未来を広げる力」だということを、心にとめておいてほしい。

今回の司会は2年2組のMRさんとYSさんが務めってくれました。司会をしてくれたMRさん、YSさんの感想は、それぞれ「緊張はしなかった。しっかり話をすることができた。このような機会があれば、また挑戦してみたい」「緊張せずにしっかり伝えることができた。これからは生徒会役員など様々なことに挑戦してみたい」でした。素晴らしい司会をありがとうございました。

祝 みんなの表彰 告白

第70回佐賀市中学校総合体育大会新人大会バレーボール競技 第1位 バレーボール部

第70回佐賀市中学校総合体育大会新人大会ソフトテニス競技 女子団体 第3位 女子ソフトテニス部

七夕書き方会 毛筆の部 特選 1年2組 KIさん

入選 3年2組 KHさん 3年3組 UMさん 3年3組 SRさん

1年2組 TAさん 1年2組 MAさん 1年3組 OAさん

硬筆の部 入選 3年1組 GKさん 3年1組 SAさん 3年3組 MIさん

2年2組 NRさん 1年1組 MAさん 1年3組 MWさん

令和7年度佐賀市中学校社会科自由研究作品展 金賞 2年1組 NAさん 金賞 1年2組 KSさん

銀賞 1年1組 TEさん

校長のつぶやきコーナー

◇ 交通ルールを順守し、自転車のマナーを大切に！

地域の方々から以下の御意見をいただきました。ありがとうございます。

「中学生が集団で歩道を自転車で走行し、小学生が避けていた」「自転車で右側を通行していた」

中学校では、日頃から、「自転車は車両」「自転車の並進禁止・左側通行」「歩行者優先」「事故に遭った時は警察に通報」など指導をしています。指導が行き届かない点等ありましたら、その場で直接生徒への声かけをしていただければ幸いです。また、御家庭でも引き続きご指導をお願いします。

Kawasoe
Leading and Creating
TOPICS

「第45回川副町『少年の主張』大会」開催

11月8日(土)に南川副公民館にて、町内の小中学校5校から選ばれた14人が、自分の思いや考え、将来の夢などについて、自分の言葉で堂々と発表しました。川副中学校からは、3年2組 TSさん、3年2組 ISさん、2年2組 SHさんが出場しました。



TSさんは「『愛情』を与えられる人になるために」のタイトルで、自分が描く未来について語りました。「さすが中学生!」と思わせる内容と圧巻のパフォーマンス力で観客を魅了し、「まなざし大賞」を受賞しました。「自分の言葉が伝わりやすいような話し方を意識しました。このような機会はなかなかないので、集中して取り組むことができてよかったです。今後に繋げていきたいです。ご指導くださった先生方に感謝しています。」と感想を述べていました。

ISさんは「アメリカに行って学んだこと」というタイトルで、それまで自分が「当たり前」と思っていたことがそうではなくかったことに気付いた経験や、それらを通して考えたことについて語りました。会場の興味や笑いを誘う魅力的な内容で、多様性を受け入れ、尊重することの大切さについて堂々と伝えることができました。「主張大会に出場したのは初めての経験だったので、とても緊張しました。でも、自分が描いていたパフォーマンスができたのでよかったです。」と笑顔で語っていました。

SHさんは「今のニュース、あなたはどう見ますか?」というタイトルで、多角的な視点をもつことの大切さを訴えました。1つのニュースを様々な角度からリサーチ・分析したことで考えを深めることができた経験や、考えたことを実生活で実践してみた経験を張りのある声で語り、見事「会長賞」を受賞しました。SHさんは、川副町の代表として、12月14日(日)にメートプラザ佐賀で行われる「佐賀市少年の主張大会」に出場します。

「自分たちの学校を、自分たちの手で」—生徒会長選挙・立会演説会開催

生徒会長選挙運動が11月17日から実施され、朝の運動や給食時間での意見放送などで、各候補がそれぞれの公約等をアピールしました。20日(木)に立会演説会・生徒会長選挙が実施され、3人の候補がこれから川中像や思いを語りました。3人全員から、「新しい川中を生徒の手で創っていきたい」との思いを感じることができました。以下候補者3人の公約などについて紹介します。

◆2年1組 NAさん 「みんなの声を学校の未来に」みんなが笑顔で過ごせる学校に

- ①地域の方々と防災について学ぶ ②学年を越えた交流の場を増やす ③校則の見直し

◆2年1組 HRさん 「個人の意見も少数の意見も大切にして笑顔あふれる川副中にしていく」

- ①意見箱の設置 ②挨拶するときに一言声かけ ③エコ・リサイクル活動

◆2年2組 SHさん 「Challenge 川副中」

- ①川副中ガーデンプロジェクト（中庭の活用） ②クロスロードプロジェクト（学年を越えた活動）

また、委員長の林啓悟さんをはじめ選挙管理委員の皆さん（SRさん、IAさん、EYさん、KYさん、NHさん）が10月14日の第1回選挙管理委員会から約1か月間、新しいリーダーを選ぶために見えないところで支えてくれました。ありがとうございました。